

製剤名	ルゴール液
主な診療科	消化器内科・消化器外科
対象	内視鏡検査でルゴール液による病変観察が必要と判断された病客さま
<p>(概要)</p> <p>ルゴール液を食道に散布すると、正常粘膜は染色されますが、病変部位は染色されません。これにより病変部位をより詳細に観察することができます。ルゴール液散布の散布は、内視鏡診断の正確性を向上することを目的とし長年にわたって広く使用されています。そのため当院でもルゴール液を院内で調整し、診断に必要な病客さまに使用しています。</p> <p>(予想される主な不利益と対策)</p> <p>刺激臭や胸やけによる一過性の気分不良など起こる可能性があります。</p> <p>有害事象のリスクを軽減するため、内視鏡下で必要最低限の散布と致します。また本剤による有害事象が起こった際はすみやかに適切な診療と処置を行います。</p>	